

実験の概要：高松空港から入る香川・瀬戸内観光客を対象に、海上タクシーを含む海・陸・空の交通機関やツアーバス等観光事業者とAPI連携した旅程提案型MaaSを提供する。観光客の行動変容を検証し、持続的な瀬戸内観光振興に向けた示唆を検討する。

地域の交通課題：

- 観光客(特に瀬戸内に来訪する外国人観光客)の観光体験・購買機会の損失に繋がるモビリティ不足
- <瀬戸内離島>公共交通の時間・容量制約による移動手段不足やフェリー、バスの積み残し
- <高松市街地>脆弱なインターモーダル連携による市内観光・経済の不活性

本格的な導入に向けた検証項目、目標値：

- MaaSアプリ(Horai)のダウンロード数(396→2400)
- 海上タクシーの利用者数(110→700)
(396ダウンロード、利用者数110人、:2019年5月28日現在)
- ・実証実験によって観光客の機会損失の解消が確認されること
- 行きたかったのに行けなかったという観光地が1箇所/日以上減ること
- ・海上・陸上交通のデータ連携に向けた障壁を取り除けていること
- 高松港発着の全7航路のうち、非現金決済を導入していない5航路がクレジットカード決済を、また、事前のウェブ予約に対応していない全7航路のうち、観光客の多い小豆島・直島・豊島に接続する5航路が事前のウェブ予約に対応している、もしくは対応することが決定している状況にあること
- 小豆島・直島の全てのタクシー事業者について、MaaSアプリ(Horai)上の配車・決済が可能になっていること

実験内容：

MaaSアプリ「Horai」の連携基盤システム開発実験中心に、全体を通貫する実験項目の下、事業者と協力して本実証実験のコア目的である「海上・陸上交通の連携に向けた障壁の克服」を実現する。実現可能な領域から連携を本格化し、実験後には空港やエアラインも巻き込み、海陸空のシームレスな移動を目指したデータ・事業者の統合を図る。



参考：HoraiのUI

Phase 0 全体調整	実証実験(1)	DBとのAPI連携開発
	実証実験(2)	需要予測モデルの構築と検証
	実証実験(3)	MaaS社会受容性調査
Phase 1 海上	実証実験(4)	海上タクシー運行実験
	実証実験(5)	AVATAR実験
	実証実験(6)	電子・オンライン決済一部導入
Phase 2 陸上	実証実験(7)	旅程連動タクシー配車導入
	実証実験(8)	手ぶら観光連携
	実証実験(9)	市内観光の課題抽出

協議会の構成員：

①企画及び次世代モビリティに関するビジョン検討/ 社会受容性醸成				
scheme verge(株)	ANAホールディングス(株)	高松商運(株)		
②MaaSに向けたデータの整備と、MaaSアプリを通じた電子決済対応・モビリティ提供				
ことでんグループ	四国旅客鉄道(株)	日新タクシー(株)	香川県旅客船協会	
③データの利活用のためのプラットフォームの整備				
scheme verge(株)	(株)電通	香川大学米谷研究室		
④MaaSプラットフォームと観光・旅行業システムの連携に向けた実証				
(一社) せとうち観光推進機構	高松空港(株) (三菱地所DX推進部支援)	穴吹興産(株)		
⑤既存/関連の取り組みとの連携・関係整理(オブザーバ)				
国土交通省 四国運輸局	高松市役所 総務局	小豆島町	土庄町	直島町